**現場の週報から（令和2年3月9日～4月5日）**

**【3月9日～3月15日】**

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・先週も『外出しないけど、中で楽しく』をモットーに過ごしています。

外食イベントが難しいので、以前から温めていた、『お寿司の出前イベント』を10日火曜日に決行。自分で選んだメニューに、皆さん大満足でした。出前を取ったことでおやつがなかったため、午後からはみんなで蒸しパンケーキを作成。普段あまり積極的でない利用者さんが、『うまいうまい』と言いながら食べていたのが印象的です。水曜日にはクレープ作り、木曜は変わりたこ焼き。次は何を作ろうかみなさんの声をもとにメニューを決められるようにしていきたいと思っています。コロナウイルスが終息するまで、ピンチをチャンスに？今しかできないことで楽しんで過ごしたいと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・写真を添付しておりますが、15日にカレーイベント開催しております。カレーを皆さんで一緒に作り、厨房で出していただいたトッピングをお好きなもの、食べたいものをのせて食べることをしていただきました。（coco壱番カレーのように）カレーはおかわり分ありませんでしたが、トッピングはおかわりされている方もいらっしゃいました。先日の営業会議でもでたように、食べ物関連のイベントは好評で、さらに皆さんで作成するイベントだとより楽しまれている様子です。来年度からも食のイベントを多くしていこうと思っております。



**【3月16日～3月22日】**

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・22日に春の料理イベントを行いました。午前中は三色マッシュポテトとちらし寿司を作りました。ちらし寿司は各々が盛りつけをおこない、それぞれに個性が出ていました。午後からは柏餅風和菓子を作りました。おやつ時に皆で食べました。午前、午後共に調理づくしの一日となりました。臨時利用の方々には当日のうちに写真をプレゼントしております。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・先週も中で楽しく過ごしています。火曜日には午後から足浴とマッサージをしました。ゆっくりと足湯をしながら、職員Kさんの紙芝居を聞く、という特典付きです。足湯で温まったあとはアロマを使ってマッサージを。久々にタッチングをもう一度受けたいなーなんて話す職員の表情からは、もっと利用者さんに触れる機会を持ちたい、喜んでもらいたい、そんな気持ちが読みとれました。利用者さんからは、『こんなのしてもらったの生まれて初めて』とか、『今日はいい日だった～』という声も聞かれ、また定期的に開催したいなぁと私たちもとても嬉しく思いました。また、木曜日は、かねてから企画していたいちご狩りイベントだったのですが・・・コロナウイルス関連で外出などは自粛しているので・・・屋内でいちごを楽しむ企画へ変更。奮発していちごを一箱購入し、『いちごパフェ』を作りました。普段食事が進まない利用者さんも完食。中には、『デイに来なかったら一生食べる機会なかっただろうなぁ』と話される方も。来年は絶対いちご狩りに行きましょうねと固く誓いました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・18日今月は女性の節句ということで、主に女性の方に綺麗になっていただきたく、カフェサロンを行いました。メイク、ネイル、マッサージ、洋服のフリマ、そして甘いお菓子を沢山お皿に並べ、皆さん、心ゆくまで楽しい時間を過ごしました。お化粧して「きれいになったかな？」と鏡をのぞかれたる方、「きれいだね」とマニキュアを塗った指先を眺める方、「似合うわよ！すっごくステキ！皇后さまみたいよ！」と好きな洋服を選んで試着しあう方、「やっぱり餅だね！」と何個も、うぐいす餅や桜餅を堪能される方。職員さんたちの準備と協力のおかげで皆さん、暗いニュースも吹っ飛ぶ暗い、とても良い時間を過ごしました。

**【3月23日～3月29日】**

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・仙台では一時的にコロナウイルスが収束したように感じていましたが、近場の散歩程度は良いとのことで公園まで梅を見に出かけた直後に七ヶ浜町での感染のニュースを聞き、外に出てリフレッシュされた利用者さんも職員もがっかりしていました・・・。しばらく以前のように買い物や外出は難しいことは利用者さんに説明していますが、やはり『出かけたい』と話される方も多い状況です。適切に感染予防対策をしつつ、屋内でも楽しんでいただけるようなデイの中を充実させるように努力していきます。最近は、利用者さんから意見を聞いて、たとえば、『チヂミが好き』という方がいたので、水曜に作成してみんなで食べたり、金曜には、『レクリエーションは何にしましょう？』『今日はゲームが良いか足湯でリラックスなど、何が良いですか』など、少しずつではありますが、みなさんの意見を主体にできるようにしています。まだまだ選択肢が少ない状況ではありますが、少しずつ『与えられる過ごし方』から脱却できるように皆さんの想いを大切にしていきたいと思います。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・外出したいと入居者の声も時おり聞かれるため、ドライブや駐車場スペース身体を動かす機会を定期的につくっております。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・DデイHさん、25日にホールにあるトイレの内部が不具合があり、使用できなくなりました。Hさんにみてもらうと、部品を持ち帰って直してくる。と話され27日の利用の時にトイレが使えるようになりました。今まで業者さんに直していただいていたことがHさんのおかげでスピーディに直るようになってます。Hさん曰く「ここ最近ではなく、前からおかしかったんだな。」とのことでした。本当に助かっております。コロナが落ち着いたら美味しいご飯を食べにいきたいと思っています。

■介護老人保健施設さくらの杜　通所リハビリテーション：丹野怜さん

・新型コロナウイルスが流行してきているため、外食等人混みに行かないようにスタッフ全員に呼びかけていきます。スタッフ一人ひとりの意識が大切になってくると思います。施設内の行動範囲の制限になってしまったため、ご利用者の方の居場所が狭くなってきています。ストレスを感じさせないように関わりをしっかりとしていきたいと思います。

■特別養護老人ホームふたばの杜：斉藤慎一さん

・27日に、SSを利用されるご利用者が100歳の誕生日を迎えるという事で、居酒屋イベントを行いました。ご利用者からのリクエストの中から、おでんやだし巻き卵・ポテトサラダなどをお出しして、カラオケしつつ皆で食べました。「大きな声出して笑えたから、外に出れなくてイライラしてたけどストレス発散できたよ」とご利用者からも好評でした。

■デイサービスわかなの杜：猪狩健介さん

・27日寿司イベント実施しました。皆さん外出イベントが少ない分、多数の皆様のご利用をいただきました。今回はマグロの解体はありませんでしたが、大好きなお寿司を食べられると皆さん笑顔が多く見られておりました。4月に入ってもコロナの状況は変わらないと思われますので、事業所内でのイベント(あんみつ作り)や、花見のみ(観光地ではなく町内にある桜の樹、あまりメジャーではなく人があまり集まらない場所をドライブするなど)を実施する予定です。引き続き換気・体温測定・清掃を徹底していきながら、皆さまがいつもと変わらない生活を送れるように職員一丸となって努力していきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・さくらの杜の中庭の桜が咲き始めました。今年は花見等の外出ができないとユニットでは中庭の桜での花見企画をしていくとちらちら話が聞こえてきています。スタッフの中には、一歩も外に出てだめという認識(マニュアル確認不足)の人がいましたのでご利用者の楽しみにつながること全て禁止ではなく、天気の良い日には散歩や日光浴などは引き続きしていくことを全職員に再度周知していきます。1階エレベータ前のスペースにカフェのテーブルと椅子を設置し新聞やコーヒーが飲めるスペースをつくりました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・リフト浴：25日1階浴室にリフトが付きました。これまで数か月シャワー浴だったKさん、職員が2～3人ががりで浴槽から上げていたYさん、Hさんなど、すでにリフトを使用し入浴しています。まだ不慣れな所はあり、少しぎこちない感じはありますが、移乗時など毎回怒ったりしていた方も、特に苛々なくスムーズに出入りが出来たり、Kさんも気持ちよさそうに入っていました。リフトを入れて頂き、ありがとうございました。

・ぎょうざづくり：中で出来るイベントとの事で27日ぎょうざを作りました。女性陣で100個のぎょうさを包みました。並々を綺麗に作る方、波を作らず閉じる方、しゅうまいのように閉じる方…様々な形の餃子が出来「色々な形があっていいね」「昔はよくこうやって作ったんだよ。「手づくりの方が美味しいよね」等と、色々会話を楽しみながら作り、食べる時も「これ私のだ」「これお母さんのじゃない？」「今度はしゅうまいもいいね」など楽しみながら食べました。次回はしゅうまい作りしたいと思います。

**【3月30日～4月5日】**

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・利用者さん、職員とも体調は安定して過ごすことが出来ています。今後も皆さんの体調に気を配っていきたいと思います。仙台でも感染が増えてきていますので、今まで以上に手洗いの励行、手指消毒、換気、周辺の消毒を行っていきます。先週は志村けんさんがお亡くなりになった話題で持ち切りでしたので、職員kさんの私物のドリフターズのDVDを皆さんにお見せしてみんなで大笑いしていました。

また、さくらが開花し、みなさん花見に行きたいと声がありましたので、外食や買い物は難しいけど、ドライブだけ、ということで火曜日にお花見を計画中です。ちなみに、外で食べられない分、お花見弁当を注文してみんなで食べる予定です。今まで自由にお出掛けしていた分、不自由さはあると思いますが、みなさんにとっても特別なさくらは堪能できたらと思います。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・入職者kさん、なぜこの仕事を選ばれたのかお伺いした際、中学校での職場体験で福祉施設に行き、この仕事が自分には合っていると思ったと話されていました。はぐくみファイルには「会話している利用者さんが笑ってくれるととても嬉しくなった」「笑って頂けるだけで今日も一日頑張ろうと思いました」「今日一日たくさんの利用者さんに助けられました」等、素直な前向きな言葉が記されています。大事に育てていこうと思います。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・昨日、2階の利用者さんに少人数での車から降りないドライブで桜を楽しんでいただきました。本日も1階の利用者さんを2グループに分けてお花見ドライブを行う予定です。やはり、桜は特別なようで、皆さん桜を見ると笑顔になられていました。お花見といえば団子！という利用者さんのリクエストに答えつつ、誤嚥リスクのあるような方にはホームで手作りしたお団子で安全に味わっていただけるように対応したいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・施設の周りを散歩する機会が増えました。外食や外出は控えていますが、施設の周りでも春を体いっぱいに感じれています。近くの光林寺の桜も咲きはじめました。スイセン・クリスマスローズは玄関先に咲いています。「花があるとやっぱりいいね」と話してくれます。出掛けられない日が多く続いていますが、環境の工夫などで補っていきたいと思います。またお彼岸の時に食べれなかったおはぎ作りも一緒にしました。少しもち米が多くなり「半殺しだね」とHさんが笑って話しながらも、ぺろりと食べていました。リクエストのメニューや献立作りも一緒にをもう一度取り入れて行きましょうと始めた所です。

